

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

(小児科定点、インフルエンザ定点)

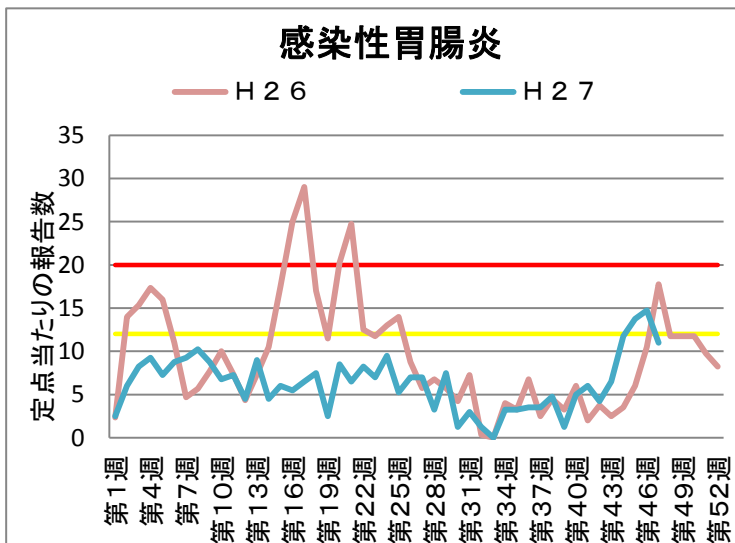
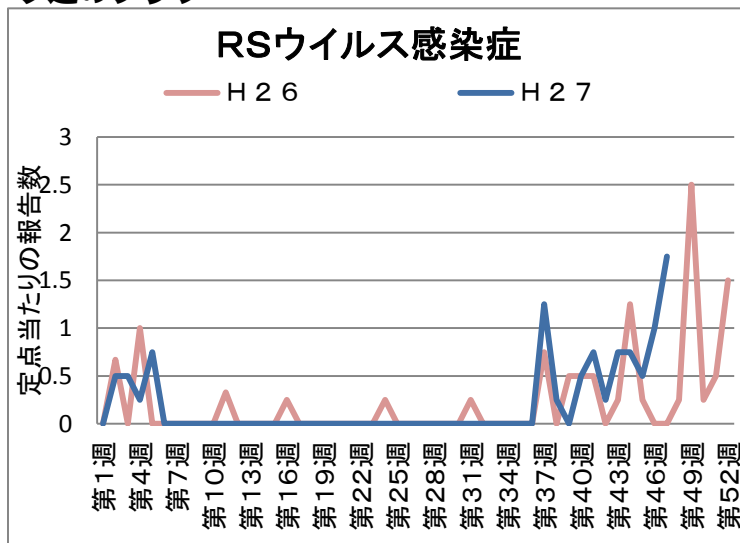
第 47 週 平成27年11月16日 ~ 平成27年11月22日

今週のコメント

○ RSウイルス感染症の報告が増加しています。RSウイルス感染症は、秋から冬にかけて毎年流行する呼吸器感染症です。年長児や成人はかぜ症状のみである場合が多いですが、0歳児・1歳児が初感染した場合は、細気管支炎・肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。咳などの呼吸器症状のある年長児や成人は、可能な限りマスクを着用し、0歳児と1歳児との接触を避けることが、重症化しやすい乳幼児への感染予防につながります。

○ 今週に入り、急に寒くなってきました。手洗い、うがい、咳エチケットを心がけ、感染症を予防していきましょう。

今週のグラフ



* 赤線は流行警報基準値です、黄線は警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	手足口病	-
RSウイルス感染症	1.75	伝染性紅斑	1
咽頭結膜熱	0.5	突発性発しん	1.5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.5	百日咳	-
感染性胃腸炎	11	ヘルパンギーナ	0.25
水痘	0.5	流行性耳下腺炎	0.25

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

報告週対応表

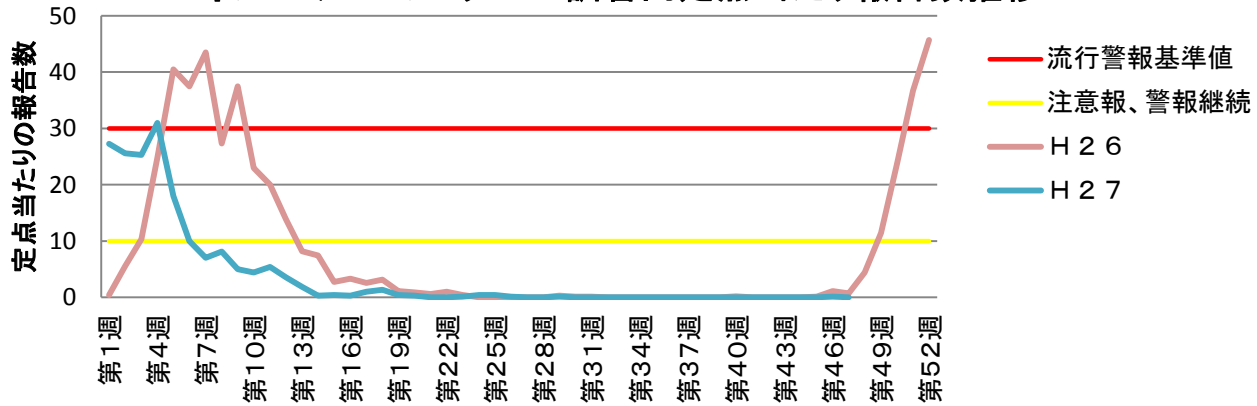
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

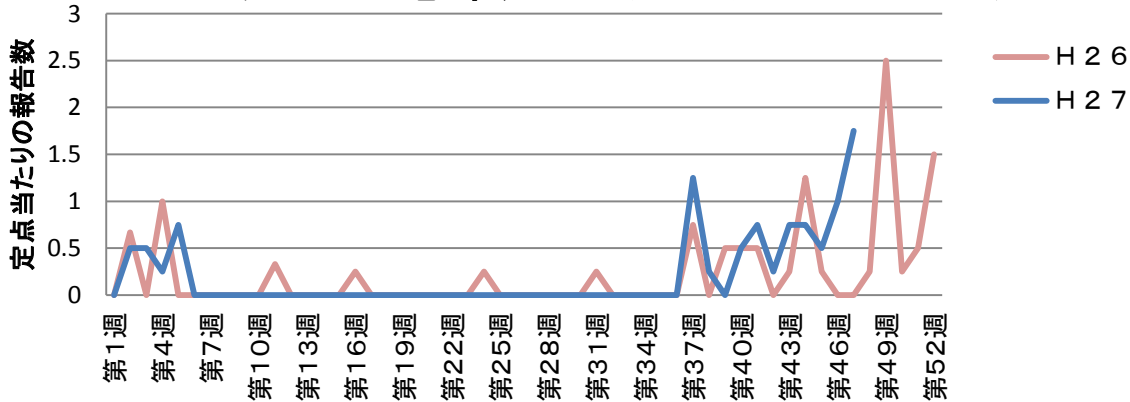
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

定点報告による各疾病の推移

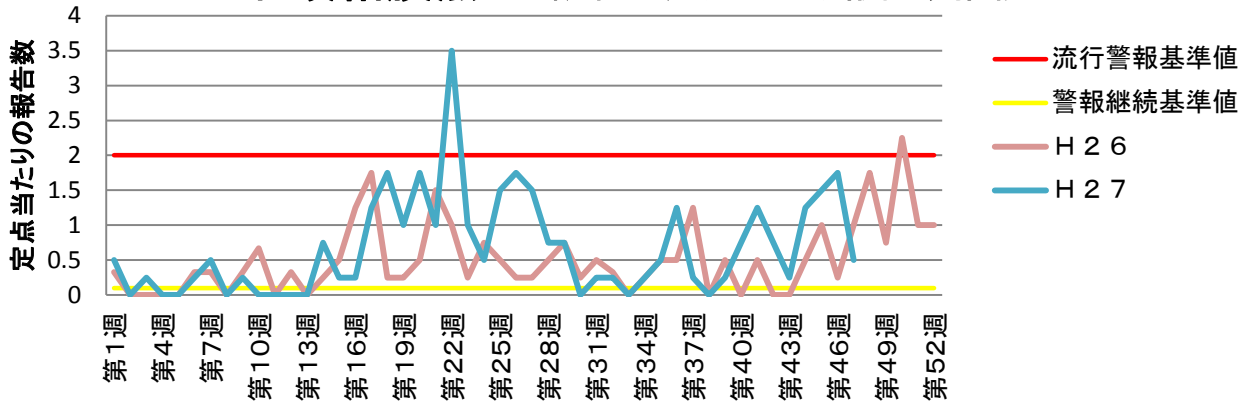
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



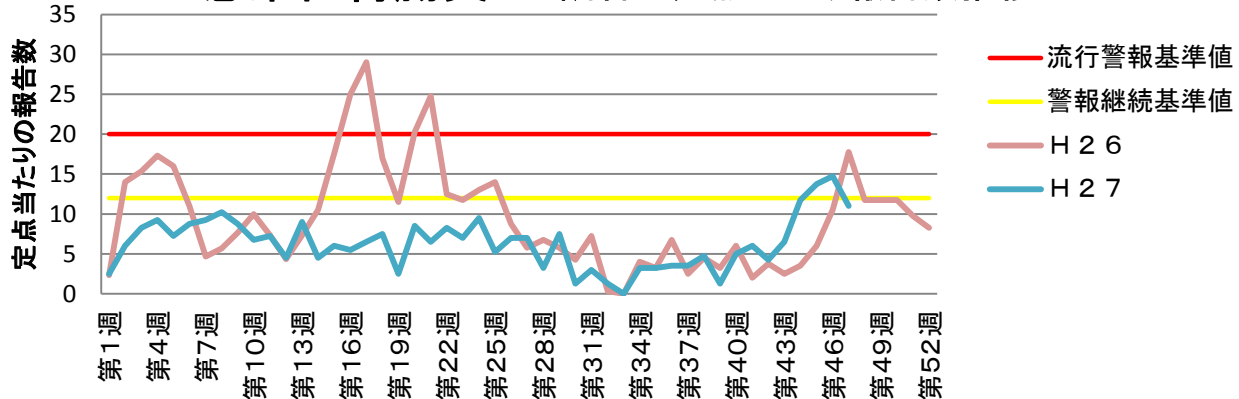
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



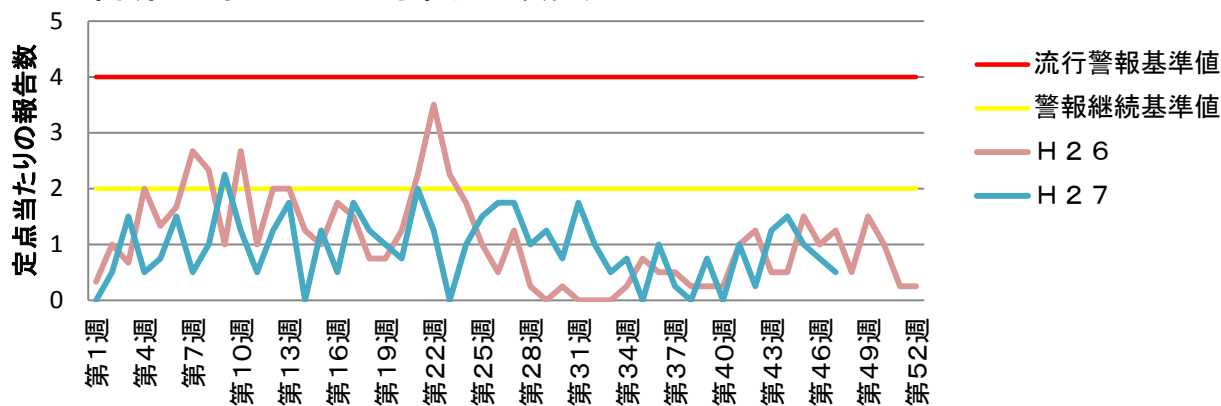
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



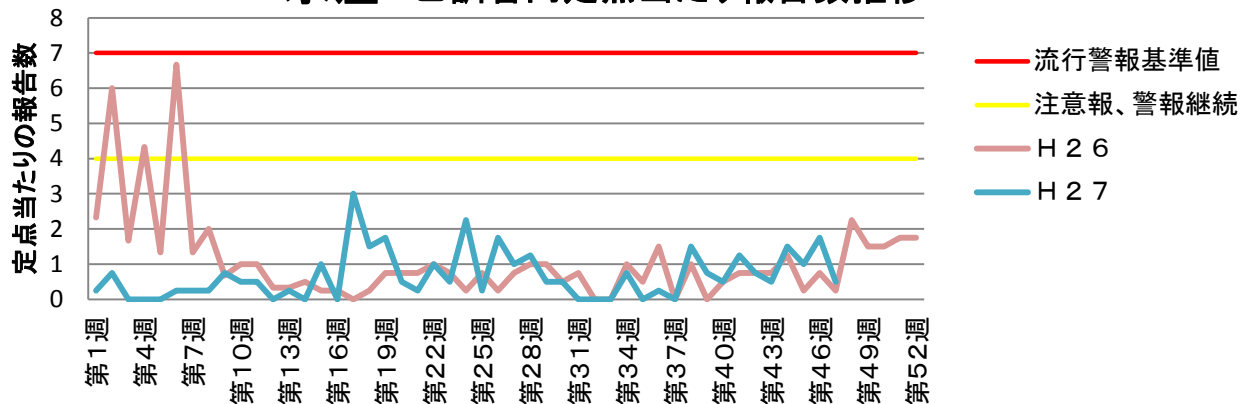
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



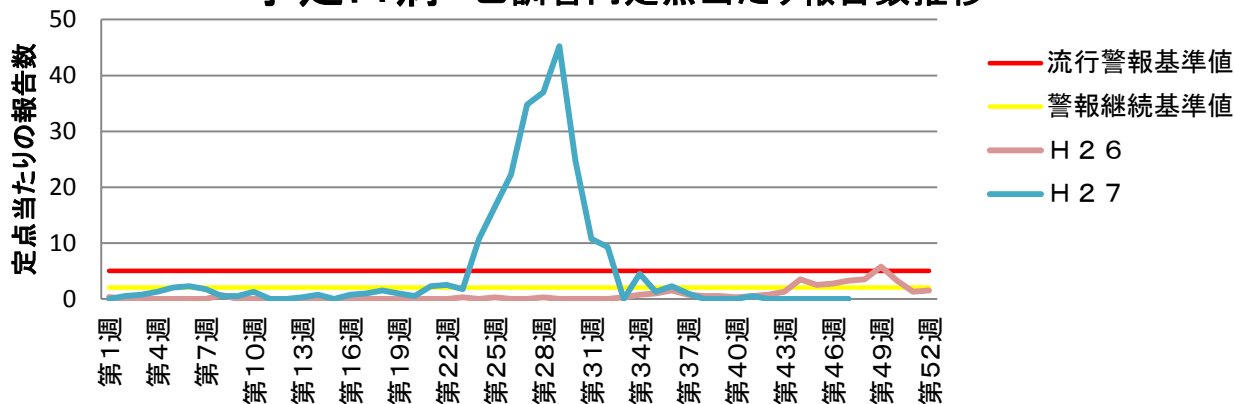
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



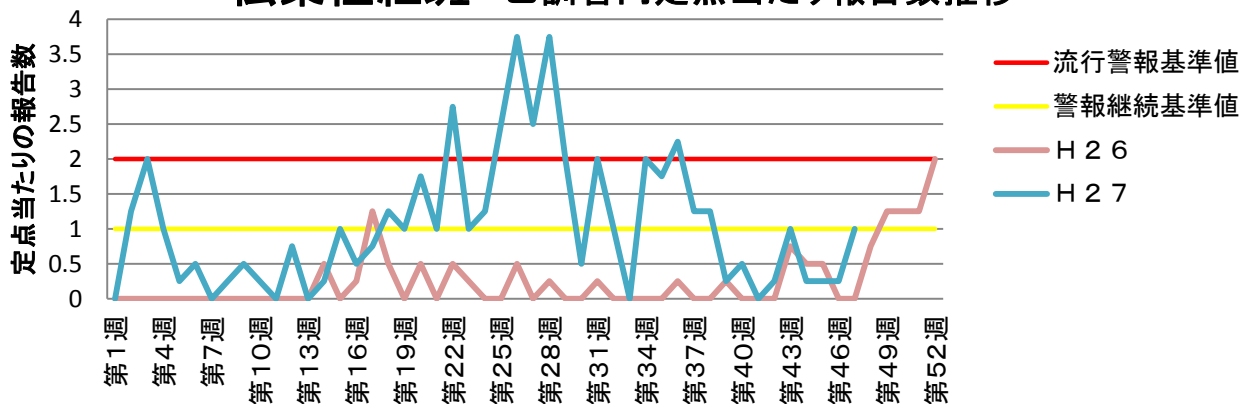
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



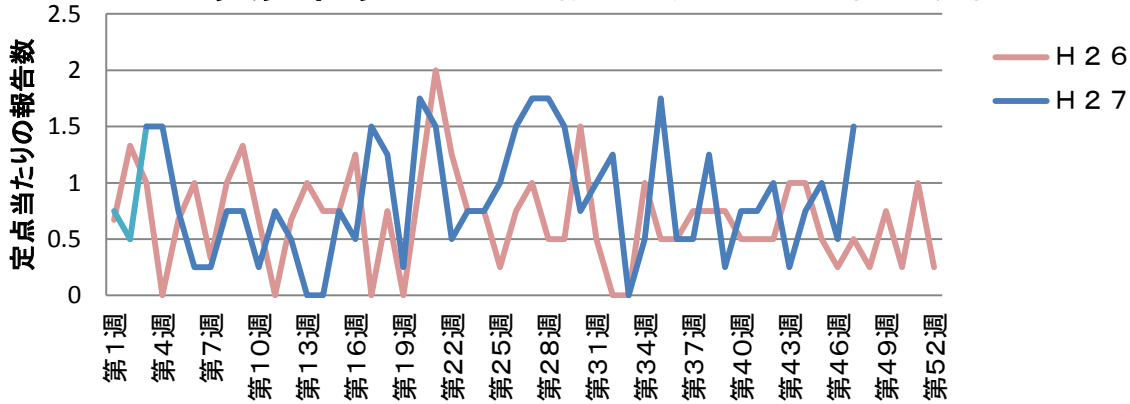
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



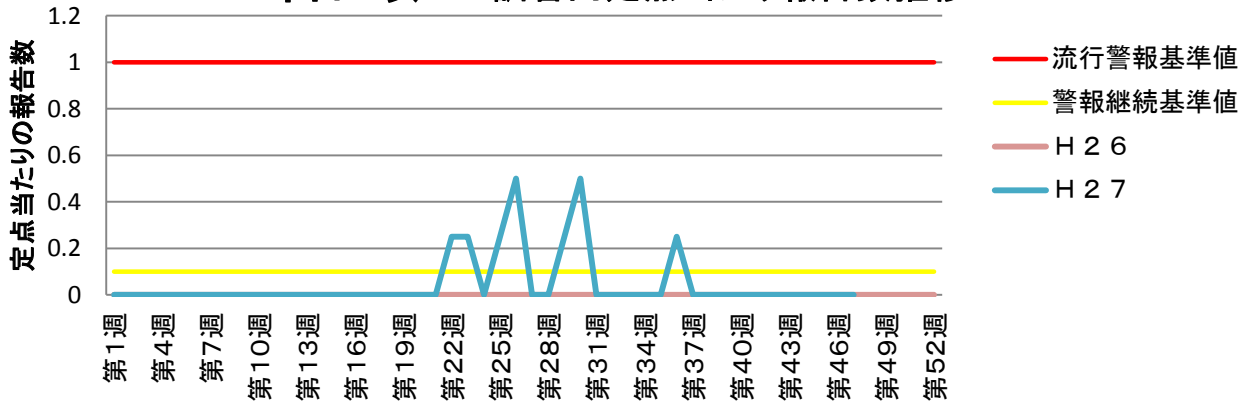
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



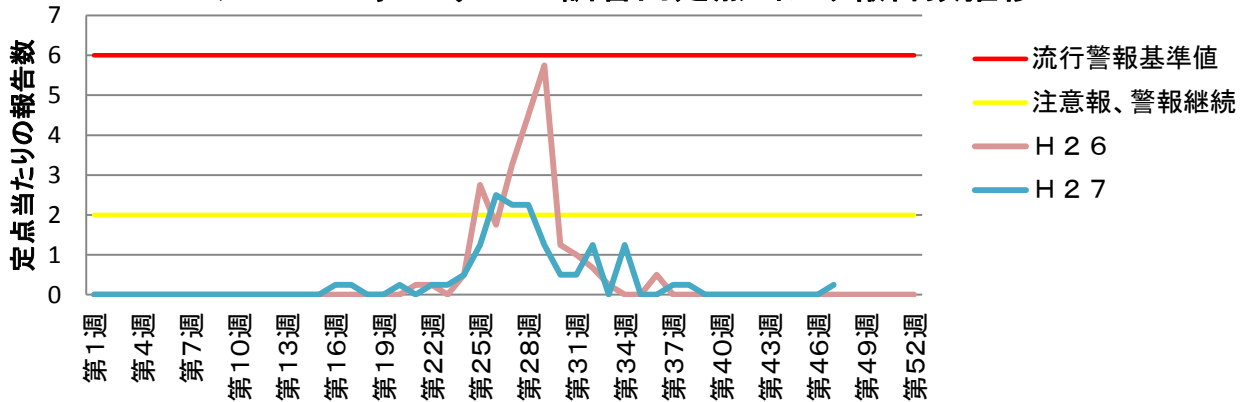
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

